

第15回江戸文化歴史検定 試験会場における感染症対策について

【運営基本方針】

江戸文化歴史検定運営事務局は、試験会場において、受検者の皆様に安心して受検していただく環境を整えるため、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じます。

本ガイドラインの内容は、2020年10月20日時点での政府・自治体などからの情報を元としています。今後の政府・自治体などの対処方針の変更のほか、感染拡大の動向や専門家の知見等を踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行う場合があります。受検者の皆様にもご協力をいただくことがございますが、何卒ご理解ご協力の程宜しくお 願い申し上げます。

試験実施時の対応

【ウイルス基本対策】

- ・受検者および運営スタッフへのマスク着用義務付け。
- ・検定会場への消毒液設置および受検者の手指消毒励行。
- ・運営スタッフへの、出勤前の検温実施義務付け—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の自宅待機指示。
- ・受検者への検定当日朝の各自検温要請—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の来場自粛要請。
- ・試験会場入場時のサーマルカメラ・非接触型体温計などによる検温実施—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の入場自粛要請。

【密閉対策】

- ・試験時間を含む、各教室出入口や窓の可能な範囲内での開放による、換気の実施。
- ・各試験実施間に換気時間の設定。
- ・途中退出の承認。

【密集対策】

- ・教室への入場時や退場時等に行列が生じる場合、可能な限りの間隔を空けた整列を励行。
- ・運営スタッフを、会場の管理・運営に必要な最小限度の人数に調整。

【密接対策】

- ・受検者に対し試験時間以外も可能な限り私語を慎むよう告知。
- ・文書配布による案内・試験説明の実施。

【受検に際しての注意事項】 お申し込み後の受検者・受検地・受検級の変更・取り消し・返金はできませんのでご注意ください。